

教育庁実施事業改善調査書（平成19年度実施事業）

生涯学習課
（内線5318）

事業名	読書推進運動費	事業開始年度	平成11年度																																							
事業の目的	図書館利用の底辺を拡大し、心の教育を充実させると共に県民の読書意欲の高揚を図る。																																									
事業の概要	読書推進運動のさらなる充実発展を目指す機会として、また、読書活動の一層の充実に資するため、読書フェスティバルなど各種イベントを開催する。																																									
期待される効果	読書活動のさらなる普及と図書館利用促進を図る契機となると共に、様々な事業に参加した優秀な人材を地域のリーダーとして公共図書館等へ紹介するなど市町村(学校・地域)の読書推進に資することができる。																																									
アンケート調査結果	<p>調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書フェスティバルに参加した児童（幼稚園児及び小学生） 72名 読書フェスティバルに参加した一般者（中学生以上） 54名 <p>読書フェスティバルの概要（春・秋の全国読書週間期間中の5月5日と10月末の年2回実施）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加者数</th> <th>イベント内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>15,938人</td> <td>読書団体等感謝状贈呈、読書感想文入賞者表彰・発表、記念講演会（講師 映画監督 柳町光男氏）、読み聞かせフォーラム、館内探検（体験）ツアー、三の丸広場出展等</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 読書フェスティバルに、来年も参加したいと思いますか。</p> <p>余り思わない、思わない 少し思う そう思う</p> <p>(1)児童</p> <table border="1"> <tr> <td>76</td> <td>24</td> <td>0</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>余り思わない 少し思う 思わない</p> <p>(2)一般</p> <table border="1"> <tr> <td>75</td> <td>21</td> <td>4</td> <td>0 (%)</td> </tr> </table> <p>2 読書活動を活発化させる方法について</p> <p>(1)児童</p> <p>少し思う 余り思わない 思わない</p> <p>図書館へ行く</p> <table border="1"> <tr> <td>83</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>余り思わない 少し思う 思わない</p> <p>学校に本がたくさんある</p> <table border="1"> <tr> <td>71</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>余り思わない 少し思う 余り思わない</p> <p>家に本がたくさんある</p> <table border="1"> <tr> <td>61</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>余り思わない 少し思う 思わない</p> <p>先生と本を読む</p> <table border="1"> <tr> <td>43</td> <td>34</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>余り思わない 少し思う 余り思わない 思わない</p> <p>親子で本を読む</p> <table border="1"> <tr> <td>44</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>(%)</td> </tr> </table>			年度	参加者数	イベント内容	19	15,938人	読書団体等感謝状贈呈、読書感想文入賞者表彰・発表、記念講演会（講師 映画監督 柳町光男氏）、読み聞かせフォーラム、館内探検（体験）ツアー、三の丸広場出展等	76	24	0	(%)	75	21	4	0 (%)	83	5	5	7	(%)	71	13	6	10	(%)	61	22	12	5	(%)	43	34	10	13	(%)	44	25	18	13	(%)
年度	参加者数	イベント内容																																								
19	15,938人	読書団体等感謝状贈呈、読書感想文入賞者表彰・発表、記念講演会（講師 映画監督 柳町光男氏）、読み聞かせフォーラム、館内探検（体験）ツアー、三の丸広場出展等																																								
76	24	0	(%)																																							
75	21	4	0 (%)																																							
83	5	5	7	(%)																																						
71	13	6	10	(%)																																						
61	22	12	5	(%)																																						
43	34	10	13	(%)																																						
44	25	18	13	(%)																																						

(2)一般者

図書館へ行く	そう思う		少し思う		余り思わない, 思わない		0 (%)
	87		13				
親子で本を読む	そう思う		少し思う		余り思わない, 思わない		0 (%)
	87		13				
読書時間を確保する	そう思う		少し思う		余り思わない, 思わない		0 (%)
	82		18				
講演会等を開催する	そう思う	少し思う	余り思わない		思わない		0 (%)
	39	45	16				
家に本がたくさんある	そう思う	少し思う	余り思わない		思わない		(%)
	41	26	31		2		
優良活動団体等を表彰する	そう思う	少し思う	余り思わない	思わない	(%)		
	23	33	31	13			

3 調査結果の分析

- (1) 読書フェスティバルに「来年も参加したいと思う」「少し思う」と答えた割合は、児童、一般者ともに高く、図書館利用の拡大に寄与していると考えられる。
- (2) 読書活動を活発化させる方法については「図書館へ行く」という設問に対して、「そう思う」「少し思う」と答えた割合が、児童で88%、一般者で100%であり、図書館への期待の高さが伺える。児童は、「学校・家庭に本がたくさんある」ことが、読書活動を活性化させる方法としてよいと答えており、本が多数あるだけでなく、「親や先生と本を読むこと」も読書活動が活発になると答えている。一般者は、「図書館へ行く」ことその他、「読書時間の確保や親子での読書活動」が大切だと考えている。

今後の方向

- 1 読書フェスティバルへの参加については、「来年も来たい」との回答が高く、本事業が読書運動の推進に果たすべき役割は大きいと考えることから、県立図書館として、さらに企画内容に工夫しながら事業を継続していく。
- 2 読書活動を活性化させる方法については、児童、一般者ともに「図書館へ行く」という回答が多いことから、県立図書館として、より一層利用者のニーズにあった事業を検討していく。
また、児童、一般者両方から回答が高かった「親子での読書」を受け、親子での読書活動が活発に行われるような効果的な事業を、県立図書館として、企画していきたい。
- 3 市町村立図書館においても、このような事業が展開されるよう啓発し、県民の読書活動推進に努めていく。